

NEWS

誰がいつ
決めた

鷺沼駅前再開発

No.8 2021年5月15日発行
鷺沼駅前再開発を考える会
連絡先 藤田 宏
☎090-6034-7686
【部内資料】

鷺沼署名 目標の1万人を突破

24日の締め切りまで引き続きご協力を

現区役所を存続し、鷺沼駅前再開発を考える会（宮前区の「会」）は5月10日、「鷺沼駅前再開発・タワマンの見直し」といまの宮前区役所の存続と2つの図書館・市民館の設置を求める陳情」署名が目標の1万人を突破し、1万63筆に到達したと発表しました。宮前区で署名が1万人を超えたのは初めてです。

宮前区の「会」は、署名を引き続き24日まで取り組み、5月下旬に開かれる川崎市議会まちづくり委員会への働きかけを強めることにしています。

鷺沼の「会」の取り組み

鷺沼再開発を考える会が集めた署名は、1210筆。「会」は、署名用紙と鷺沼

再開発の問題点を明らかにしたチラシをセットにして地域に配布。この取り組みに賛同した50人以上の方が署名用紙を事務局に郵送してくれました。

知人に署名を広げ、何回にもわたって署名を事務局に送ってくださる方も数多く生まれました。

土橋在住のSさんは、自分の住むマンションの理事会に働きかけたり、太極拳のサークルで活動している友だちなど周りの知人に幅広く働きかけ、百数十筆の署名を集めました。

励ましのメッセージとカンパが

「大変お世話になります。閑静な鷺沼であってほしいです」「独居です。自分だけですみません。がんばつ

てください」「今ある鷺沼の良さを活かす再開発をお願いしたいです」などなど、たくさんの温かいメッセージが寄せられました。カンパも17人の方から3万8000円同封されました。

多くの方々のご協力の積み重ねが、今回の目標突破の力になりました。

取り組みは今後も続きます

私たちの運動の前進が要因の一つとなって、東急は鷺沼駅前再開発計画の見直しを迫られました。川崎市も「都市計画」の手続きを「1年～1年半先送り」することになりました。

鷺沼再開発見直しを求める取り組みは、市民の声を結集し、見直しを実現するまで、息長く続きます。

鷺沼駅前に寄せる言葉

建築（建物）が本来人々に与えてくれるものとは一体何なのでしょうか。

自然の恵みを頂きながら「人としての心」を与えてくれる建物（環境）でなくてはなりません。

では駅前に、「その心」を与えてくれる環境とは一体どういったことなののでしょうか。

駅前とは日々の思い抱え駅を出た瞬間に人々と共に「人として生きる心」を取り戻す場所であり、青い空、純白な雲、そして風薫り鳥さえずる今あるこの鷺沼駅前に建物が本当に必要なのでしょうか。その心を取り戻す事で、どれだけのその後の人生に潤いを与えてくれるのか。

心地よい風が、穏やかな陽射しが、たった一度身に降り注ぐだけで「心潤い」取り戻す。

自然でしか成し得ない事を建物が与える事は不可能なのです。

燦然と輝き降り注ぐ太陽の恵みも夏の焼け付く様な陽射しに木陰が涼しく感じるひと時のしあわせ感、そしてどこからともなく薫る金木犀の香りと共に秋風を感じるこの駅前に一部の既得権者の営利目的による壊斫（かいはつ：開発）による建物など必要ありません。

「自然と共に生きる」・「人々に生きる活力を与える」まさに駅前は「心のふるさと」として高原の風吹く今の姿であり続けて欲しいと願います。

（土橋・建築家：レオナルド）

投稿歓迎 鷺沼駅前再開発について川崎市や再開発組合に対する意見や要望など、住民の声の投稿を歓迎します。

字数は500字程度です。「考える会」事務局の藤田宛連絡ください。（匿名可）
☎ 090-6034-7686